



松高同窓会の平成二十七年定期総会は平成二十七年六月二十七日(土)紫雲閣で宮崎得一氏(高5)による講演に続いて開催された。旧制中学14回から高校55回まで、定時制を含む百二十二人の同窓生が出席した。

新井会長、安齋校長の挨拶や近況報告等あり、学校職員、事務局紹介の後、議長に新井会長が選出され議事に入った。

平成二十六年度事業報告、及び決算書の説明があり、会計監査から監査報告がなされ異議なく承認された。

続いて平成二十七年事業計画(案)及び予算(案)の説明があり、異議なく承認された。

次に役員人事に移り、新役員人事(案)会長・留任、副会長・新任2名、留任4名、再任1名、退任4名、監事・留任1名、再任1名について提案がなされた。

出席者より前年に就任した副会長4名が何故、辞表を出すことになったかの説明を求められた。それに對し議長からの明確な回答は出なかつたが辞表を提出した副会長から、副会長としての意見を全て無視されることで副会長として本部に属することの意味が無いことを感じ辞任を決定したとの発言があった。また出席者からも創立百周年事業

の説明があり、異議なく承認された。「松高の森(仮称)」の取得での独断専行、人事に關しても年次偏重・地域偏重が甚だしいとの意見が相つづくこととなり、賛否を問うたところ同窓会会則に則り人事(案)は承認されるに至らなかつた。

懇親会終了後、部屋を移した副会長4名が何故、辞表を出すことになったかの説明を求められた。それに對し議長からの明確な回答は出なかつたが辞表を提出した副会長から、副会長としての意見を全て無視されることで副会長として本部に属することの意味が無いことを感じ辞任を決定したとの発言があった。また出席者からも創立百周年事業

の説明があり、異議なく承認された。「松高の森(仮称)」の取得での独断専行、人事に關しても年次偏重・地域偏重が甚だしいとの意見が相つづくこととなり、賛否を問うたところ同窓会会則に則り人事(案)は承認されるに至らなかつた。

平成 27 年度 総会

役員人事(案) 承認されず

松高同窓会の平成二十七年定期総会は平成二十七年六月二十七日(土)紫雲閣で宮崎得一氏(高5)による講演に続いて開催された。旧制中学14回から高校55回まで、定時制を含む百二十二人の同窓生が出席した。

新井会長、安齋校長の挨拶や近況報告等あり、学校職員、事務局紹介の後、議長に新井会長が選出され議事に入った。

平成二十六年度事業報告、及び決算書の説明があり、会計監査から監査報告がなされ異議なく承認された。

続いて平成二十七年事業計画(案)及び予算(案)の説明があり、異議なく承認された。

次に役員人事に移り、新役員人事(案)会長・留任、副会長・新任2名、留任4名、再任1名、退任4名、監事・留任1名、再任1名について提案がなされた。

出席者より前年に就任した副会長4名が何故、辞表を出すことになったかの説明を求められた。それに對し議長からの明確な回答は出なかつたが辞表を提出した副会長から、副会長としての意見を全て無視されることで副会長として本部に属することの意味が無いことを感じ辞任を決定したとの発言があった。また出席者からも創立百周年事業

の説明があり、異議なく承認された。「松高の森(仮称)」の取得での独断専行、人事に關しても年次偏重・地域偏重が甚だしいとの意見が相つづくこととなり、賛否を問うたところ同窓会会則に則り人事(案)は承認されるに至らなかつた。

懇親会終了後、部屋を移した副会長4名が何故、辞表を出すことになったかの説明を求められた。それに對し議長からの明確な回答は出なかつたが辞表を提出した副会長から、副会長としての意見を全て無視されることで副会長として本部に属することの意味が無いことを感じ辞任を決定したとの発言があった。また出席者からも創立百周年事業

の説明があり、異議なく承認された。「松高の森(仮称)」の取得での独断専行、人事に關しても年次偏重・地域偏重が甚だしいとの意見が相つづくこととなり、賛否を問うたところ同窓会会則に則り人事(案)は承認されるに至らなかつた。

の説明があり、異議なく承認された。「松高の森(仮称)」の取得での独断専行、人事に關しても年次偏重・地域偏重が甚だしいとの意見が相つづくこととなり、賛否を問うたところ同窓会会則に則り人事(案)は承認されるに至らなかつた。

ゆかいな色の
松高同窓会

題字 瀬川泰次郎
編集代表者 小澤 義信
東松山市松山町1-6-10
〒355-0018
TEL・FAX 0493(24)2634
TEL(学校) 0493(22)0075



平成27年3月28日、常任理事会が松高大会議室で開催された。本会に付託された議題は、次の通りである。

1. 平成26年度事業報告
2. 平成26年度決算報告
3. 平成27年度事業計画(案)
4. 平成27年度予算(案)
5. 役員人事(案)
6. 附則の改正(案)

以上6つの案件につき審議の結果、すべて可決された。

理事会は平成27年5月23日開かれ、常任理事会で可決された議案を審議承認した。校歌斉唱の大合唱となり、手締め、万歳三唱と続き閉会に至った。

次回の再会を誓いそれぞれ大満足で家路についた。

会において人事案が承認されなかつたことに対する対策を協議した。

総務委員会
第1回総務委員会を平成28年1月23日に開催した。今年度は総会に於いて、人事案が承認されないという不測の事態が生じ、臨時的な役員組織で対応してきたので、この経緯等を追認した。

第2回総務委員会を2月19日(金)に開催し、28年度予算案、28年度総会の実施等について審議した。監事として玉貫武(高12)・小川孝(高21)を選任するものとした。

部会長会
平成27年7月15日、第一回部会長会が松山高大会議室で開催された。議題は(1)創立百周年記念事業について、(2)「松高の森」いわゆる山林の取得、(3)同窓会ホームページの立ち上げ、(4)在校

生の国際交流事業支援について討議した。①については賛同意見は希少であった。②については前向きに検討することで承認された。③(部会)の活性化について、①実働の会員を増やすこと、②部会の情報交流について意見交換を行った。

第2回部会長会議は、11月17日松高大会議室に於いて開催され、長谷川会長代行から今年度の体制、同窓会の方向性が明確に示された。事業委員会整備のため、各部会1名の委員を選出願いたいとの要望があった。

事業委員会
平成27年9月17日(木)史跡めぐりと見学会、東秩父村「和紙の里」にて、ユネスコ無形文化遺産「細川紙」の手漉き和紙の体験と「妙栄山浄蓮寺の見学会」(「青雲酒造」の見学を小川部会の皆さんの協力を得て行なった。参加者28名)

平成27年11月3日(祝)第二回健康散策会、日本スリーデーターチパレードに参加。登録参加者45名

編集委員会
第1回編集委員会は平成27年10月22日に開催され「ゆかりの色」32号の反省と33号の発行等について

協議した。33号の発行部数は昨年同様二万二千部とする。内容は二十七年度総会の人事案件や臨時理事会での経緯を正しく客観的に伝える。

他の記事は基本的に前回とす旨協議し、承認された。第2回編集委員会は平成28年1月18日に開催された。

・頁数、発行部数の確認
・記事内容の確認
・原稿回収状況のチェック

・発行、発送の日程、予算等協議し承認された。

本部役員全員退任
会長代行に長谷川氏
臨時常任理事・理事会

因みに、六月の総会で講演が予定されている静岡県立大学の小針進教授は一年時の担任であります。

懸案であった部会も整備され、二十部会それぞれ充実した活動を行っており、来るべく百周年に向けて心強い限りであります。

総会時の提案に向けて人事案を含む本部の組織を整備することが私に課せられた役割であると考えます。

微力ではありますが誠心誠意努めさせていただきます。皆様のご指導、ご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。

○27年度総会に提案された役員人事案はすべて白紙と協議した。

・33号の発行部数は昨年同様二万二千部とする。

・内容は二十七年度総会の人事案件や臨時理事会での経緯を正しく客観的に伝える。

他の記事は基本的に前回とす旨協議し、承認された。

第2回編集委員会は平成28年1月18日に開催された。

・頁数、発行部数の確認
・記事内容の確認
・原稿回収状況のチェック

・発行、発送の日程、予算等協議し承認された。

本部役員全員退任
会長代行に長谷川氏
臨時常任理事・理事会

因みに、六月の総会で講演が予定されている静岡県立大学の小針進教授は一年時の担任であります。

懸案であった部会も整備され、二十部会それぞれ充実した活動を行っており、来るべく百周年に向けて心強い限りであります。

総会時の提案に向けて人事案を含む本部の組織を整備することが私に課せられた役割であると考えます。

微力ではありますが誠心誠意努めさせていただきます。皆様のご指導、ご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。

○27年度総会に提案された役員人事案はすべて白紙と協議した。

・33号の発行部数は昨年同様二万二千部とする。

・内容は二十七年度総会の人事案件や臨時理事会での経緯を正しく客観的に伝える。

他の記事は基本的に前回とす旨協議し、承認された。

第2回編集委員会は平成28年1月18日に開催された。

・頁数、発行部数の確認
・記事内容の確認
・原稿回収状況のチェック

・発行、発送の日程、予算等協議し承認された。

本部役員全員退任
会長代行に長谷川氏
臨時常任理事・理事会

因みに、六月の総会で講演が予定されている静岡県立大学の小針進教授は一年時の担任であります。

懸案であった部会も整備され、二十部会それぞれ充実した活動を行っており、来るべく百周年に向けて心強い限りであります。

総会時の提案に向けて人事案を含む本部の組織を整備することが私に課せられた役割であると考えます。

微力ではありますが誠心誠意努めさせていただきます。皆様のご指導、ご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。

○27年度総会に提案された役員人事案はすべて白紙と協議した。

・33号の発行部数は昨年同様二万二千部とする。

・内容は二十七年度総会の人事案件や臨時理事会での経緯を正しく客観的に伝える。

他の記事は基本的に前回とす旨協議し、承認された。

第2回編集委員会は平成28年1月18日に開催された。

・頁数、発行部数の確認
・記事内容の確認
・原稿回収状況のチェック

・発行、発送の日程、予算等協議し承認された。

本部役員全員退任
会長代行に長谷川氏
臨時常任理事・理事会

因みに、六月の総会で講演が予定されている静岡県立大学の小針進教授は一年時の担任であります。

懸案であった部会も整備され、二十部会それぞれ充実した活動を行っており、来るべく百周年に向けて心強い限りであります。

総会時の提案に向けて人事案を含む本部の組織を整備することが私に課せられた役割であると考えます。

微力ではありますが誠心誠意努めさせていただきます。皆様のご指導、ご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。

○27年度総会に提案された役員人事案はすべて白紙と協議した。

・33号の発行部数は昨年同様二万二千部とする。

・内容は二十七年度総会の人事案件や臨時理事会での経緯を正しく客観的に伝える。

他の記事は基本的に前回とす旨協議し、承認された。

第2回編集委員会は平成28年1月18日に開催された。

・頁数、発行部数の確認
・記事内容の確認
・原稿回収状況のチェック

・発行、発送の日程、予算等協議し承認された。

本部役員全員退任
会長代行に長谷川氏
臨時常任理事・理事会

因みに、六月の総会で講演が予定されている静岡県立大学の小針進教授は一年時の担任であります。

懸案であった部会も整備され、二十部会それぞれ充実した活動を行っており、来るべく百周年に向けて心強い限りであります。

総会時の提案に向けて人事案を含む本部の組織を整備することが私に課せられた役割であると考えます。

微力ではありますが誠心誠意努めさせていただきます。皆様のご指導、ご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。

○27年度総会に提案された役員人事案はすべて白紙と協議した。

・33号の発行部数は昨年同様二万二千部とする。

・内容は二十七年度総会の人事案件や臨時理事会での経緯を正しく客観的に伝える。

他の記事は基本的に前回とす旨協議し、承認された。

第2回編集委員会は平成28年1月18日に開催された。

・頁数、発行部数の確認
・記事内容の確認
・原稿回収状況のチェック

・発行、発送の日程、予算等協議し承認された。

本部役員全員退任
会長代行に長谷川氏
臨時常任理事・理事会

因みに、六月の総会で講演が予定されている静岡県立大学の小針進教授は一年時の担任であります。

懸案であった部会も整備され、二十部会それぞれ充実した活動を行っており、来るべく百周年に向けて心強い限りであります。

総会時の提案に向けて人事案を含む本部の組織を整備することが私に課せられた役割であると考えます。

微力ではありますが誠心誠意努めさせていただきます。皆様のご指導、ご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。

○27年度総会に提案された役員人事案はすべて白紙と協議した。

・33号の発行部数は昨年同様二万二千部とする。

・内容は二十七年度総会の人事案件や臨時理事会での経緯を正しく客観的に伝える。

他の記事は基本的に前回とす旨協議し、承認された。

第2回編集委員会は平成28年1月18日に開催された。

・頁数、発行部数の確認
・記事内容の確認
・原稿回収状況のチェック

・発行、発送の日程、予算等協議し承認された。

本部役員全員退任
会長代行に長谷川氏
臨時常任理事・理事会

因みに、六月の総会で講演が予定されている静岡県立大学の小針進教授は一年時の担任であります。

懸案であった部会も整備され、二十部会それぞれ充実した活動を行っており、来るべく百周年に向けて心強い限りであります。

総会時の提案に向けて人事案を含む本部の組織を整備することが私に課せられた役割であると考えます。

微力ではありますが誠心誠意努めさせていただきます。皆様のご指導、ご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。

○27年度総会に提案された役員人事案はすべて白紙と協議した。

・33号の発行部数は昨年同様二万二千部とする。

・内容は二十七年度総会の人事案件や臨時理事会での経緯を正しく客観的に伝える。

他の記事は基本的に前回とす旨協議し、承認された。

第2回編集委員会は平成28年1月18日に開催された。

・頁数、発行部数の確認
・記事内容の確認
・原稿回収状況のチェック

・発行、発送の日程、予算等協議し承認された。

本部役員全員退任
会長代行に長谷川氏
臨時常任理事・理事会

因みに、六月の総会で講演が予定されている静岡県立大学の小針進教授は一年時の担任であります。

懸案であった部会も整備され、二十部会それぞれ充実した活動を行っており、来るべく百周年に向けて心強い限りであります。

総会時の提案に向けて人事案を含む本部の組織を整備することが私に課せられた役割であると考えます。

微力ではありますが誠心誠意努めさせていただきます。皆様のご指導、ご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。

○27年度総会に提案された役員人事案はすべて白紙と協議した。

・33号の発行部数は昨年同様二万二千部とする。

・内容は二十七年度総会の人事案件や臨時理事会での経緯を正しく客観的に伝える。

他の記事は基本的に前回とす旨協議し、承認された。

第2回編集委員会は平成28年1月18日に開催された。

・頁数、発行部数の確認
・記事内容の確認
・原稿回収状況のチェック

・発行、発送の日程、予算等協議し承認された。

本部役員全員退任
会長代行に長谷川氏
臨時常任理事・理事会

因みに、六月の総会で講演が予定されている静岡県立大学の小針進教授は一年時の担任であります。

懸案であった部会も整備され、二十部会それぞれ充実した活動を行っており、来るべく百周年に向けて心強い限りであります。

総会時の提案に向けて人事案を含む本部の組織を整備することが私に課せられた役割であると考えます。

微力ではありますが誠心誠意努めさせていただきます。皆様のご指導、ご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。

○27年度総会に提案された役員人事案はすべて白紙と協議した。

・33号の発行部数は昨年同様二万二千部とする。

・内容は二十七年度総会の人事案件や臨時理事会での経緯を正しく客観的に伝える。

他の記事は基本的に前回とす旨協議し、承認された。

第2回編集委員会は平成28年1月18日に開催された。

・頁数、発行部数の確認
・記事内容の確認
・原稿回収状況のチェック

・発行、発送の日程、予算等協議し承認された。

本部役員全員退任
会長代行に長谷川氏
臨時常任理事・理事会

因みに、六月の総会で講演が予定されている静岡県立大学の小針進教授は一年時の担任であります。

懸案であった部会も整備され、二十部会それぞれ充実した活動を行っており、来るべく百周年に向けて心強い限りであります。

総会時の提案に向けて人事案を含む本部の組織を整備することが私に課せられた役割であると考えます。

微力ではありますが誠心誠意努めさせていただきます。皆様のご指導、ご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。

○27年度総会に提案された役員人事案はすべて白紙と協議した。

・33号の発行部数は昨年同様二万二千部とする。

・内容は二十七年度総会の人事案件や臨時理事会での経緯を正しく客観的に伝える。

他の記事は基本的に前回とす旨協議し、承認された。

第2回編集委員会は平成28年1月18日に開催された。

・頁数、発行部数の確認
・記事内容の確認
・原稿回収状況のチェック

・発行、発送の日程、予算等協議し承認された。

本部役員全員退任
会長代行に長谷川氏
臨時常任理事・理事会

因みに、六月の総会で講演が予定されている静岡県立大学の小針進教授は一年時の担任であります。

懸案であった部会も整備され、二十部会それぞれ充実した活動を行っており、来るべく百周年に向けて心強い限りであります。

総会時の提案に向けて人事案を含む本部の組織を整備することが私に課せられた役割であると考えます。

微力ではありますが誠心誠意努めさせていただきます。皆様のご指導、ご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。

○27年度総会に提案された役員人事案はすべて白紙と協議した。

・33号の発行部数は昨年同様二万二千部とする。

・内容は二十七年度総会の人事案件や臨時理事会での経緯を正しく客観的に伝える。

他の記事は基本的に前回とす旨協議し、承認された。

第2回編集委員会は平成28年1月18日に開催された。

・頁数、発行部数の確認
・記事内容の確認
・原稿回収状況のチェック

・発行、発送の日程、予算等協議し承認された。

本部役員全員退任
会長代行に長谷川氏
臨時常任理事・理事会

因みに、六月の総会で講演が予定されている静岡県立大学の小針進教授は一年時の担任であります。

懸案であった部会も整備され、二十部会それぞれ充実した活動を行っており、来るべく百周年に向けて心強い限りであります。

総会時の提案に向けて人事案を含む本部の組織を整備することが私に課せられた役割であると考えます。

微力ではありますが誠心誠意努めさせていただきます。皆様のご指導、ご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。

○27年度総会に提案された役員人事案はすべて白紙と協議した。

・33号の発行部数は昨年同様二万二千部とする。

・内容は二十七年度総会の人事案件や臨時理事会での経緯を正しく客観的に伝える。

他の記事は基本的に前回とす旨協議し、承認された。

第2回編集委員会は平成28年1月18日に開催された。

・頁数、発行部数の確認
・記事内容の確認
・原稿回収状況のチェック

・発行、発送の日程、予算等協議し承認された。

本部役員全員退任
会長代行に長谷川氏
臨時常任理事・理事会

因みに、六月の総会で講演が予定されている静岡県立大学の小針進教授は一年時の担任であります。

懸案であった部会も整備され、二十部会それぞれ充実した活動を行っており、来るべく百周年に向けて心強い限りであります。

総会時の提案に向けて人事案を含む本部の組織を整備することが私に課せられた役割であると考えます。

微力ではありますが誠心誠意努めさせていただきます。皆様のご指導、ご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。

○27年度総会に提案された役員人事案はすべて白紙と協議した。

・33号の発行部数は昨年同様二万二千部とする。

・内容は二十七年度総会の人事案件や臨時理事会での経緯を正しく客観的に伝える。

<



文武両面にわたる活躍

校長 安齊敏雄 (高26)

同窓会の皆様には、日頃から本校教育活動にご支援・ご協力を賜り誠に有り難うございます。初めに、本校の概要を申し上げます。少子化の影響から今年度普通科で定員を1クラス減としました。現在27クラス(1年生は8クラス規模ですが少人数クラス編成で9クラス)1041名の生徒が在籍しております。普通科と理数科があり、普通科には各学年1クラスずつ国立公立大を目指す特進クラスを設置しています。これまでの卒業生は全・定合わせて28000名を超えております。次に、進学状況ですが、昨年度の国立大合格者は航空保安大学校と水産大学校を含めて現役28名、浪人13名で41名でした。大学名を一部申し上げますと、現浪合わせて群馬大10、埼玉大7、筑波大3、宇都宮大3、それに現役で医学部に入った島根大などを挙げる事が出来ます。また、私立大学も早慶上理やいわゆるGMARCH(学習院、明治、青山、立教、中央、法政)などの難関私立にも現浪合わせて97名が合格しております。一方、部活動においては今年度、インターハイに陸上、ソフトテニス、水泳の3部が、全国総合文化祭には書道、映像制作、新聞、囲碁将棋の4部が出品・出場しました。その内、陸上ハンマー投げでは3年伊東君が第4位入賞、ソフトテニス個人戦では千崎・寺下ペアがベスト64。さらに、囲碁部門団体戦に出場した3年山本君は副将として活躍し、埼玉県に初優勝をもたらしました。なお、ハンマー投げの伊東君は10月の和歌山国体でも6位入賞を果たしています。また、皆さんの関心の高い野球部ですが、残念ながら甲子園出場はなりませんでしたが、24年ぶりに準決勝まで駒を進め、ベスト4という素晴らしい成績を残してくれました。さらに、新チーム主将、2年生清水君は夏、秋の県大会での活躍から、関東地区高野連主催「日豪親善高校野球交流試合」の北関東選抜チームの一員に選ばれ、年末オーストラリア遠征に参加してきました。このような他校では例を見ない文武両面にわたる活躍を今後とも一層推進し、日本のトップリーダーたりうる人材を育成してまいり所存ですので、皆様には一層のご支援をよろしくお願い申し上げます。

第8回 立志講演会

私の人生の夢と選択

講師 俣田敏且氏(高26)

教頭 大山貞雄



1月13日(水)に本校OBである、独立行政法人地域医療機能推進機構東京山手メディカルセンター医師俣田敏且氏によって「私の人生の夢と選択」と題して行われました。同氏は、本校を昭和49年3月に卒業、昭和59年福島県立医科大学卒業。同6月東京大学整形外科入局。平成3年東京大学整形外科助手。平成5年社会保険中央

総合病院に勤務され、そこで整形外科部長、育推育働外科部長の要職を務められ、平成26年から東京山手メディカルセンター育推育働外科部長をされております。高校時代は安齊校長と同期で、部活動はソフトテニス部でした。当時の貴重な写真をスライドで見せていただきました。しかし、俣田氏は3年の12月に下肢切断という重大な事故に遇ってしまいます。受験を目前に控え、受験校や将来のことまで重い選択を迫られました。卒業式に何とか出席出来た時、重大な決意をされました。「医学部に進む」でした。浪人中、上智大学の理工学



部は合格したそうですが、夢の実現に向けさらに浪人という選択をします。その結果、第一希望の医大に合格されました。医大クラスでは自分が年上だろうと思っていたら、他の大学を卒業してきた方が何人もいて、様々な専門性のある友人に恵まれたということでした。大学時代も必死で学び続けた結果、卒業後は東京大学整形外科に入局しました。医療の世界は、われわれが想像するよりもはるかにハードなものでした。病巣の早期発見、痛みの軽減や手術時間の短縮のための技術の習得と開発には、いくらか時間がかかっても足りませんでした。自分の健康に留意しつつ、最大限の研究時間を確保し、医療発展のために技術開発と後進の育成に徹しました。その結果、医療器具の特許も取られ、今まで多くの患者さんに使われているそうです。松高の伝統ある校風のもと、部活動の厳しい練習で

鍛え上げられた精神力と体力があつてこそ成しえたことだと思えます。最後に「人間万事塞翁が馬」を示されました。松高時代の交通事故も含めて何が起きるか分かりません。しかし、その時々で重大な選択と決断が必要になります。人生は選択・決断の連続です。「苦しい時も夢を持ち、常に前向きに生きてゆけば道は開ける」という言葉には重みを感じました。自分に託されたことを全力で全うする生き方を学びました。俣田氏の手術を待つ患者と技術を乞う後進は、後を絶ちません。明日も手術が詰まっているそうです。

新卒業生のための同窓会入会式が平成28年3月11日安齊校長ご臨席のもとに行われた。安齊校長、長谷川同窓会長代行の祝辞の後、同窓会による母校教育活動支援の一環としての学業成績優秀者、成績向上者、部活動優秀者の表彰を行った。26年度成績優秀者

第1学年 小野陸央 平野陸央 菊地 諒 佐藤和隆 草間亮哉 矢崎和太 吉川智浩 阿部圭太 吉川智浩 第2学年 小山 潤 岡 優和 小久保佑斗 橋本聖弥 石井優星 松本尚也 早野陽紀 清水彰文 小鷹史哉 清水彰文 第3学年 関根貴史 大木 格 相原啓晴 渡邊秀平 青貴 翔 小黒 颯

近藤裕樹 澤田鉄兵 飯友友也 福島拓将 第2学年 中村大海 田中 竣 永島裕大 鈴木武虎 西山 創 高橋一真 池田穂樹 藤澤孝仁 渋谷風雅 藤澤孝仁 第3学年 三角陽輝 寺下博貴 秋山徹太 草野勇太 太田隆裕 長谷部翼 村田隼人 阿久津将史 田島尚斗

大熊修平 石橋 晃 小林遼大 奥山翔太 和木優馬 小久保佑斗 高良慎平 松本幹太 吉田優斗 空手道 松本幹太 河野元陽 川添聖太 河野元陽 榎澤俊介 瀧島優太 依田蒼人 定野晃大 國王寺祐樹 栗原佑汰 水泳部 岩田亮久 岩田亮久 ラグビー部 関 雄大 小松 凌 山本弥広 山本唯明 加藤秀太 荒井 仁 荒井 仁 (生物部) 伊東優成 齊藤 司 伊東優成 齊藤 司 草野勇太 今井優作 宇田川魁斗 金子瑞輝 川田裕也 田中蒼生 相澤健一 福井啓太 (映像制作部) 富田虎太郎 中村友弥 佐藤悠馬 松本和樹 内田拓弥 田村 悠

27年度部活動優秀者 (陸上競技部) 伊東優成 齊藤 司 草野勇太 今井優作 宇田川魁斗 金子瑞輝 川田裕也 田中蒼生 相澤健一 福井啓太 (ソフトテニス部) 高橋圭介 千崎翔平 寺下博貴 西條 惟 大政公佑 中島僚太

27年度成績向上者 飯友友也 福島拓将 中村大海 田中 竣 永島裕大 鈴木武虎 西山 創 高橋一真 池田穂樹 藤澤孝仁 渋谷風雅 藤澤孝仁 第3学年 三角陽輝 寺下博貴 秋山徹太 草野勇太 太田隆裕 長谷部翼 村田隼人 阿久津将史 田島尚斗

27年度部活動優秀者 (陸上競技部) 伊東優成 齊藤 司 草野勇太 今井優作 宇田川魁斗 金子瑞輝 川田裕也 田中蒼生 相澤健一 福井啓太 (映像制作部) 富田虎太郎 中村友弥 佐藤悠馬 松本和樹 内田拓弥 田村 悠

27年度成績向上者 飯友友也 福島拓将 中村大海 田中 竣 永島裕大 鈴木武虎 西山 創 高橋一真 池田穂樹 藤澤孝仁 渋谷風雅 藤澤孝仁 第3学年 三角陽輝 寺下博貴 秋山徹太 草野勇太 太田隆裕 長谷部翼 村田隼人 阿久津将史 田島尚斗

27年度部活動優秀者 (陸上競技部) 伊東優成 齊藤 司 草野勇太 今井優作 宇田川魁斗 金子瑞輝 川田裕也 田中蒼生 相澤健一 福井啓太 (映像制作部) 富田虎太郎 中村友弥 佐藤悠馬 松本和樹 内田拓弥 田村 悠

27年度成績向上者 飯友友也 福島拓将 中村大海 田中 竣 永島裕大 鈴木武虎 西山 創 高橋一真 池田穂樹 藤澤孝仁 渋谷風雅 藤澤孝仁 第3学年 三角陽輝 寺下博貴 秋山徹太 草野勇太 太田隆裕 長谷部翼 村田隼人 阿久津将史 田島尚斗

27年度部活動優秀者 (陸上競技部) 伊東優成 齊藤 司 草野勇太 今井優作 宇田川魁斗 金子瑞輝 川田裕也 田中蒼生 相澤健一 福井啓太 (映像制作部) 富田虎太郎 中村友弥 佐藤悠馬 松本和樹 内田拓弥 田村 悠

27年度成績向上者 飯友友也 福島拓将 中村大海 田中 竣 永島裕大 鈴木武虎 西山 創 高橋一真 池田穂樹 藤澤孝仁 渋谷風雅 藤澤孝仁 第3学年 三角陽輝 寺下博貴 秋山徹太 草野勇太 太田隆裕 長谷部翼 村田隼人 阿久津将史 田島尚斗

27年度部活動優秀者 (陸上競技部) 伊東優成 齊藤 司 草野勇太 今井優作 宇田川魁斗 金子瑞輝 川田裕也 田中蒼生 相澤健一 福井啓太 (映像制作部) 富田虎太郎 中村友弥 佐藤悠馬 松本和樹 内田拓弥 田村 悠

同窓会入会式 学業成績・部活動表彰

新卒業生のための同窓会入会式が平成28年3月11日安齊校長ご臨席のもとに行われた。安齊校長、長谷川同窓会長代行の祝辞の後、同窓会による母校教育活動支援の一環としての学業成績優秀者、成績向上者、部活動優秀者の表彰を行った。26年度成績優秀者

第1学年 小野陸央 平野陸央 菊地 諒 佐藤和隆 草間亮哉 矢崎和太 吉川智浩 阿部圭太 吉川智浩 第2学年 小山 潤 岡 優和 小久保佑斗 橋本聖弥 石井優星 松本尚也 早野陽紀 清水彰文 小鷹史哉 清水彰文 第3学年 関根貴史 大木 格 相原啓晴 渡邊秀平 青貴 翔 小黒 颯

近藤裕樹 澤田鉄兵 飯友友也 福島拓将 第2学年 中村大海 田中 竣 永島裕大 鈴木武虎 西山 創 高橋一真 池田穂樹 藤澤孝仁 渋谷風雅 藤澤孝仁 第3学年 三角陽輝 寺下博貴 秋山徹太 草野勇太 太田隆裕 長谷部翼 村田隼人 阿久津将史 田島尚斗

大熊修平 石橋 晃 小林遼大 奥山翔太 和木優馬 小久保佑斗 高良慎平 松本幹太 吉田優斗 空手道 松本幹太 河野元陽 川添聖太 河野元陽 榎澤俊介 瀧島優太 依田蒼人 定野晃大 國王寺祐樹 栗原佑汰 水泳部 岩田亮久 岩田亮久 ラグビー部 関 雄大 小松 凌 山本弥広 山本唯明 加藤秀太 荒井 仁 荒井 仁 (生物部) 伊東優成 齊藤 司 伊東優成 齊藤 司 草野勇太 今井優作 宇田川魁斗 金子瑞輝 川田裕也 田中蒼生 相澤健一 福井啓太 (映像制作部) 富田虎太郎 中村友弥 佐藤悠馬 松本和樹 内田拓弥 田村 悠

27年度部活動優秀者 (陸上競技部) 伊東優成 齊藤 司 草野勇太 今井優作 宇田川魁斗 金子瑞輝 川田裕也 田中蒼生 相澤健一 福井啓太 (ソフトテニス部) 高橋圭介 千崎翔平 寺下博貴 西條 惟 大政公佑 中島僚太

27年度成績向上者 飯友友也 福島拓将 中村大海 田中 竣 永島裕大 鈴木武虎 西山 創 高橋一真 池田穂樹 藤澤孝仁 渋谷風雅 藤澤孝仁 第3学年 三角陽輝 寺下博貴 秋山徹太 草野勇太 太田隆裕 長谷部翼 村田隼人 阿久津将史 田島尚斗

27年度部活動優秀者 (陸上競技部) 伊東優成 齊藤 司 草野勇太 今井優作 宇田川魁斗 金子瑞輝 川田裕也 田中蒼生 相澤健一 福井啓太 (映像制作部) 富田虎太郎 中村友弥 佐藤悠馬 松本和樹 内田拓弥 田村 悠

27年度成績向上者 飯友友也 福島拓将 中村大海 田中 竣 永島裕大 鈴木武虎 西山 創 高橋一真 池田穂樹 藤澤孝仁 渋谷風雅 藤澤孝仁 第3学年 三角陽輝 寺下博貴 秋山徹太 草野勇太 太田隆裕 長谷部翼 村田隼人 阿久津将史 田島尚斗

27年度部活動優秀者 (陸上競技部) 伊東優成 齊藤 司 草野勇太 今井優作 宇田川魁斗 金子瑞輝 川田裕也 田中蒼生 相澤健一 福井啓太 (映像制作部) 富田虎太郎 中村友弥 佐藤悠馬 松本和樹 内田拓弥 田村 悠

27年度成績向上者 飯友友也 福島拓将 中村大海 田中 竣 永島裕大 鈴木武虎 西山 創 高橋一真 池田穂樹 藤澤孝仁 渋谷風雅 藤澤孝仁 第3学年 三角陽輝 寺下博貴 秋山徹太 草野勇太 太田隆裕 長谷部翼 村田隼人 阿久津将史 田島尚斗

27年度部活動優秀者 (陸上競技部) 伊東優成 齊藤 司 草野勇太 今井優作 宇田川魁斗 金子瑞輝 川田裕也 田中蒼生 相澤健一 福井啓太 (映像制作部) 富田虎太郎 中村友弥 佐藤悠馬 松本和樹 内田拓弥 田村 悠

27年度成績向上者 飯友友也 福島拓将 中村大海 田中 竣 永島裕大 鈴木武虎 西山 創 高橋一真 池田穂樹 藤澤孝仁 渋谷風雅 藤澤孝仁 第3学年 三角陽輝 寺下博貴 秋山徹太 草野勇太 太田隆裕 長谷部翼 村田隼人 阿久津将史 田島尚斗

27年度部活動優秀者 (陸上競技部) 伊東優成 齊藤 司 草野勇太 今井優作 宇田川魁斗 金子瑞輝 川田裕也 田中蒼生 相澤健一 福井啓太 (映像制作部) 富田虎太郎 中村友弥 佐藤悠馬 松本和樹 内田拓弥 田村 悠

27年度成績向上者 飯友友也 福島拓将 中村大海 田中 竣 永島裕大 鈴木武虎 西山 創 高橋一真 池田穂樹 藤澤孝仁 渋谷風雅 藤澤孝仁 第3学年 三角陽輝 寺下博貴 秋山徹太 草野勇太 太田隆裕 長谷部翼 村田隼人 阿久津将史 田島尚斗

大学合格状況 (平成27年12月現在)

Table with columns for University, Current Status, Last Year, Total, and a list of 100+ universities including Doshisha, Keio, and others.

Financial statement for 26th year: 平成26年度 松山高校同窓会 決算書. Includes income and expense sections.

Financial statement for 27th year: 平成27年度 松山高校同窓会 予算書. Includes income and expense sections.

監査報告 会計関係諸証票の監査の結果、適正であると認めます。平成27年5月19日 監事 玉貫武一 監事 小川 孝

記念講演

ポツダム宣言受諾の経緯と
運命の 8 月 15 日
を迎えて

講師 宮崎得一氏

荻野 紘 (高14)



恒例の同窓会総会前の講演は、宮崎得一氏(高5回)により行われた。

氏は元今宿酪農組合長、鳩山村長、鳩山町町長と町勢発展の礎を築かれた一方、造詣深い歴史の研究活動は今も続けられている。講演は、昭和 20 年 7 月 26 日に提示された「ポツダム宣言」から昭和天皇の「玉音放送」により敗戦を知らされた 8 月 15 日の終戦日までの 20 日間の中で、無条件降伏の要求が最終報告であることと見抜けぬまま、仲介の和平工作をソ連に依頼する外務省首脳、戦争継続・本土決戦を叫び勇猛果敢なる作戦に立ち

向かおうとする支那派遣軍を中心とする陸軍と阿南惟幾陸相。受諾の条件を「国体護持」のみで良とするか、「戦争犯罪人の処罰」・「武装解除の方法」・「占領軍の進駐」の三条件も付加すべしと何度開催されても意見が纏まらない「最高戦争指導者会議」に集う面々。軍部との綱渡りのような詰めの協議の末に、昭和天皇に「御聖断」を願う終戦へと導く鈴木貫太郎首相。後ろ盾を得られぬまま、降伏を阻止し戦争継続を企てクーデター決行に走る様を時局に充て、分り易く淡々と語られた。そして、最後まで徹底抗戦を主張し「御聖断」が下っても頑なに無条件降伏に反対した阿南陸相の心中を、天皇が最も恐れた終戦に反発する陸軍の暴発と、倒閣を阻止するため、強硬な言動により主戦論を衰え

つつ、大日本帝国や天皇へ忠誠し国家の為にささげた 130 万の兵士たちの死の意義は何か、そして部下たちを絶望的な混乱から救い「栄光の敗北」に繋げる方策を熟慮しての行動とした。広島・長崎への原爆投下、ソ連の満州侵攻など、一刻一刻と破局へと突き進んでいった戦争末期の日本、鈴木首相は本土決戦が当然のようには呼ばれ「億玉砕論」が渦巻く中、平和を希求する昭和天皇と心を通い合わせ、戦争を終結に導く過程で、開かれる会議は紛糾し時間が徒らに過ぎ何度も開かねばならなかったのは、議論半ばで採決すれば非常事態が発生することが予想されることから、陸軍の徹底抗戦を抑えるには反対意見が出尽くした段階で天皇の御聖断以外に方策がないことを見抜き、実行し収拾に成功した鈴木首相ならではの老練作戦であったと結ばれた。

史跡巡りと見学会

世界遺産 細川紙の里
かわいい「青い目の人形」

長谷部守永 (高8)

世界遺産・細川紙。秩父郡秩父村。手漉き和紙づくりの伝統技法が評価され、東隣の小川町とともに、ユネスコ無形文化遺産に登録、いわゆる世界遺産に輝いた細川紙の里である。秩父連山のふもと、豊かな原風景が広がる。今回の史跡巡りと見学会に約 30 人が参加した。二人の佳人も、お目見得、彩りを添えた。9 月 17 日(平成 27 年)、朝もや残る山あいの道を小川町駅前からバスに揺られて、20 分ほどで着いた。初秋の粗っぽい雨が降っていた。肌寒さを感じながら、傘を差したまま、目の前の体験型学習施設「和紙の里」に入る。山荘風の建物。手漉き和紙の道具がずらり。職人の紙づくりの様子を、職場の雰囲気も伝わってきた。細川紙は最高級和紙。「原料は楮だけ。竹藪による流水」との説明。係員の実演のあと、本番の紙漉き体験した。漉き槽に向かい、長方形の竹藪で和紙の原液をすくう作業だ。10 人が挑戦。2、3 分ほどかかったが、初心者としては、なかなかの出来栄で、満足な様子。観光施設でもある。建物の一角に飾られた「青い目の人形」が目覚めた。マーガレットというニッケンム。かわいい。「昭和二年



大河原尋常高等小学校」とある。日米親善のため贈られた約一万二千体のうちの一つ。90 年に及ぶ長い歴史と風雪に耐えてきた。太平洋戦争という不幸な時代にも、この人形を大切に守ってきた。心ある人たちが地元でいた。日米友好の証ともいえる、感動的な物語である。午前、和紙の里の目と鼻の先にある妙栄山浄蓮寺に寄った。林立する杉や、イチョウの太木に囲まれた本堂で、法話を聞く。文化財

を多くそろえる由緒ある古刹。松山城主・上田朝直ら上田一族をまつる菩提寺でもある。さて、狂食、お食事処でくつろぎのとき。てんぷら、うどんを肴に、多めに杯を傾け、ホロ酔い気分の人も自己紹介をささみ、歓談に花が咲く。帰りは、小川町へもどり、酒づくりの現場を見学したあと、銘酒の試飲で疲れをいやした。

第 2 回健康散策会 参加者 45 名
第 38 回日本スリーデーマーチ パレード参加 小川忠世 (高23)
11 月 3 日(祝)は夜来の雨もあがり、曇一つない青天となった。まさにスリーデーマーチにふさわしい天気となった。松高集合組は 11 時に記念館に集まり、長谷川清司会長代行の挨拶、前田実事業委員長の日程説明を受けた後、それぞれ松高の幟旗を掲げ、パレード出発地の新明小学校へと向かった。出発地では松高同窓会の

東西南北各部会と合流し、一段と意気が上がった。会場には、各自治会、地域の代表企業、ボランティアグループ、ボイススカウト、ガールスカウト等の幟旗がところ狭しと並び立ち、スリーデーマーチのイベントの大きさを印象づけていた。参加者 45 名。定刻どおり、大東文化大学のマーチングバンド部の演奏に導かれパレードが始

まいったが、参加団体が多く、なかなか会場から出られない程であった。沿道に出ると、多くの方々のご声援をいただき、その都度、松高旗を大きく振った。これからも、地域の方々のご支援をいただきながら、母校支援をしていこうと思った。

同窓生
私は今

筆とラケットの私の半生

鹿沼義治 (旧姓宮下) (高5)



私の半生を記念して、滑川町コミュニティセンターに於いて、平成 27 年 1 月から 3 ヶ月間に亘り、作品展示会を開催しました。1 月に書画を、2 月に水墨

年生の時に、松崎春川先生から直接ご指導を受け、2 年生で日展学生部の部において銀賞を受賞しました。3 年生になりテニスに専念して、関東選手権大会で「準優勝」、東日本選手権大会は「優勝」、そして全日本選手権大会(現インターハイ)では団体戦で「優勝」の栄誉をつかむ事ができました。この松高時代の書道とテニスが、筆とラケットの私の半生に大きな夢を与えていることになりました。チーゼル機器人社後、テニスは、埼玉県代表選手として国体に 3 度出場、東京国体では準優勝、埼玉国体では一般男子の監督で「準優勝」、長崎国体では一般女子の監督を務めました。書道は、松崎春川先生が会頭の山梨書道会(管城)にて 4 段位を取得。その後、昭和 46 年に脱社

ラして仲間 3 人で(株)三峰を設立、昭和 60 年には独立して、(株)シンエイを設立、代表取締役社長となりました。この間は、筆とラケット。から離れた時代でした。還暦となり、平成 7 年から水墨画の基本を習い、日本書道協会の会員として平成 12 年に「真伝」を取得。禅画家師家(名譽理事)教授資格を、14 年には中国少林寺書道院の分院(名譽教授)を取得しました。水墨画、全国公募総合水墨画展では、国際カレッジ賞を 3 回受賞し、審査員奨励賞も 2 回受賞、翌年は、優秀賞(大賞候補作品)を受賞しました。67 歳となり、30 年振りにラケットを握り、シニア 65 歳の部で関東選手権大会に出場して第 3 位に、その後、シニア 75 歳の部では、東日本選手権大会で第 3 位とな

りました。現在は、自宅アトリエにて水墨画教室を開き、生徒へ自然が手本と、見、視、観(しっかりと観察する)を指導して、手本を描いており、私も生徒と共に日々、作品を制作しています。筆とラケットを友として、是からも更なる上の目標に向かつて、飽くなきチャレンジ精神で日々過ごしております。そして、松高で所属した、書道部、テニス部の、後輩(在校生)の活躍している報道を見るたび、私事のように、嬉しく思っております。

私は県立松山高第 40 回卒業生です。部活は英語部に所属しておりました。原付バイク通学が許されておりました。都幾川村の奥地からはかなり距離もあったため、「寒寒期の通学の大変さに負けず頑張ったこと」は立派である。」と通知表の担任所見に書かれるほどでありました。校歌の練習は応援団の先輩達に何度も怒鳴られ、声がかかるまで歌いました。休み時間に行われる練習は

当時本当に苦痛でしたが「ゆかりの色」と「空は晴れたり」は、恐らくこれからの人生で忘れることはないでしょう。その他の学生生活では、夏にバケツの水に足を突っ込んで授業を受けていたこと、比企一周駅伝に 3 年連続走れたこと、学園祭でバンド演奏をしたことなどが懐かしい思い出です。父裕能の結婚生活が小川町でスタート、私が 3 歳の時生家のときがわ町へ。その後現在私も小川町で生活。地元は埼玉中央部森林組合に勤めております。主な業務は地域の山主さんの山林の手入れと間伐等で搬出された丸太の加工・販

青年たちの剣道指導もしておられたようだ。熱心な方だったから無理されたんだろう。当時結婚は不治の病だった。惜しい人を死なせてしまった。」父裕能は「父の死を看取った院長と夫人とにこんな思わぬことで巡り会い、2 人のことばに亡き父の面影を追い求めていた。」と話していました。「油断市の匂いのする木造校舎、父も学んだ同じ教室で授業を受けられたことが何よりも嬉しかった。」と父は話します。水泳大会の潜水艦(潜ったまま何メートル泳げたかと競う)で優勝したこと。松島・平泉への東北旅行宿泊した鳴子温泉。懐かしい思い出、校内弁論大会で自分の将来の夢「山に生きる」を弁論したこと。を今でも今でもその想いは変わっていないと父は誇らしげに語っていました。

参加者募集 事業委員会
第 39 回「日本スリーデーマーチ」パレード参加
一、実施日 平成 28 年 11 月 6 日(日)
二、集合場所・時間 ○パレードスタート場所 新明小学校 12 時 30 分
○東松山駅 13 時
○パレード終了後の全員集合場所 松山第一小学校校庭
※記念撮影 無し
三、参加費 無し
※各部会は「のぼり旗」を必ず持参して下さい。
※お問合わせ 詳細資料のご請求、お申込みは同窓会事務局まで
TEL・FAX 0493-24-2634
担当 松浦

星 俊充 (高40)
木の上で立つて見ている親子三代松高生

星 俊充 (高40)
木の上で立つて見ている親子三代松高生

部 会 情 報 会

問い合わせは各部会担当まで

の議案が承認され、数々の事業が行われて来ており、その中でも、ゴルフコンペと忘年会は、常に酒豪たる面々の会員の方たちが集い、様々な話や思い出話で大いに盛り上がり盛大な宴となっております。さすが我が母校松高！校歌に謳われている「友よ共に」



の姿を垣間見ることが出来ました。しかし、和やかな会合の中においても常に部員の方たちからは部員増の増、事業への参加者の増など意見が出されます。部会運営の中で、私たちは若い世代との世代間ギャップ、同窓会への思い、考え方の違いなどの問題に突き当たっています。今後は、このような問題をどのように解決していくかが課題になると思います。その点を踏まえながら私たち東部会は、今後も引き続き新規会員の募集を行い、部員からの意見として、他の部会との共同事業や交流会を行えるようにすべきとこのことで、他の部会との協議を行い、より良い部会運営が出来ればと考えております。石井哲夫(高18) 0493・24・0565

松山東

田島好夫(高8)

部会発足以来、田島好夫部長のもと役員の皆様のご尽力、会員の方たちのご協力により、母校への支援、会員相互の親睦を目的とする活動を積極的に有意義な部会活動が行われております。平成27年度は、総会を6月6日、紫雲閣において開催し提案された全ての

松山西

小澤民雄(高17)

西部会は、松山高校の地元で、松山中学校区が部会の範囲となっております。部会総会は平成27年2月22日(日)午後3時より松山高校記念館で開催しました。記念講演に、演題「拉致問題を風化させないために」と題し、講師北朝鮮による拉致被害者家族連絡会、代表飯塚繁雄、特定失踪者家族 藤田隆司、北朝鮮に拉致された日本人を救出する埼玉の代表 竹本博光の三氏をお招きして催しました。講師の話に総会出席者全員が引き込まれ、拉致被害者の苦しみ私達の心に強く残りました。講演後皆で募金に協力し、拉致被害者救済パジャマ、持参された全部を購入、凄じ反響に「さすが松高健児ここに有り」と思いました。



松山南

吉野秀男(高4)

部会の研修旅行は信州の歴史散策であった。バスの中で屋代副部長の家系図に記載の先祖は

松山北

清水作二(高19)

平成27年3月1日(日)あすま家において総会を開

吹割溪谷遊歩道散策でありましたが、燃える様な紅葉を期待していたが、最盛期を過ぎた関係で少し残念でありました。一方、遊歩道散策コースの観音堂からの滝は、水量も多く、ごうごうと落下飛散し、見る者を圧倒しており、大勢の観光客も、この景観に満足している様子でした。散策後、次の目的地、老神温泉「湯華亭」へと向った。到着後、まず、温泉に入浴し、日頃の疲れ、散策の疲れを癒し、リフレッシュした後、慰労会を開催し、歓談しながら楽しい一時を過ごしました。今後、大勢の参加者を募り、日帰り親睦旅行が行出来れば、会員相互の交流が更に深まるのではないかと考えたところです。清水作二(高19) 0493・39・2979

川島

遠山洋(高18)

見も発表された。関越道では、自慢の歌声はやがて校歌の大合唱となり、バスが膨らむほどの大声援が後へと流れていった。吉野秀男(高4) 0493・34・4619



吉見

鈴木由喜男(高17)

この地をこよなく愛したのは、僧侶横山祖道さんで藤村詩碑近くの敷の前に座し、風雨も厭わず一日も休まず草笛を二十二年間も吹き続けたそうである。帰路に着くと、不思議なことこの期に及ぶといつも車内の話題は、母校の思い出話や昨今の話題となる。今回の旅では野球、サッカー部のグラウンド問題であった。市内で活用されていない運動場や更地を活用出来ないか、との貴重な意見

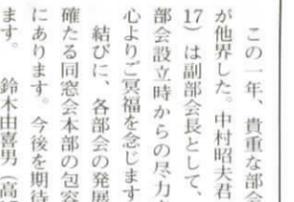
で役員改選が行われ、平成二十一年度から部長として会の発展にご尽力いただきました長岡常雄氏(高12)が顧問に副会長に就任いたしました。新役員体制で部会活動を盛り上げ、部会の活性化に繋げてまいりますのでよろしくお願いたします。

この総会に合わせ、部会では支部活動のシンボルともなる後援会旗を作成し、お披露目させていただきました。私も本校同窓会役員として部会設立に係わって参りましたので、この同窓会旗のもと部会の結束力がさらに高まればと思っております。また、同窓会本部の事業にも積極的に参加し、野球部の応援はもとより比企一周駅伝大会等の行事にも支援ができるよう努めてまいります。

川島

遠山洋(高18)

この一年、貴重な部員が他界した。中村昭夫君(高17)は副部長として、当部会設立時から尽力者心より冥福を祈ります。結びに、各部会の発展は確たる同窓会本部の包容力にあります。今後を期待します。鈴木由喜男(高17) 090・2205・0651



吉見

鈴木由喜男(高17)

この一年、貴重な部員が他界した。中村昭夫君(高17)は副部長として、当部会設立時から尽力者心より冥福を祈ります。結びに、各部会の発展は確たる同窓会本部の包容力にあります。今後を期待します。鈴木由喜男(高17) 090・2205・0651

小川

野澤保雄(高6)

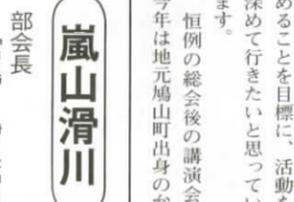


護士山崎馨氏を招いて「学生時代と弁護士活動」と題し話を聞きました。氏は学生時代、父から「百姓の跡取りになるのだから勉強はあまりいらぬ」と言われたが、松高卒業後奮って東大へ入学、卒業後一時銀行員となったが後に弁護士に転身された経緯を話されました。弁護士活動を通して自分の権利や利益を損なわない守り神であることを、心に銘ずる必要があると力説。具体例として「契約と時効」の事例を挙げ、その期限を説明されました。秋の見学会。今年は横須賀の港内と猿島、それに戦艦三笠の探訪でした。まず港内を二巡、アメリカ軍艦や自衛艦を目の当たりにして、国防の重要性と船の魅力にひかれました。猿島は全島が地下壕の要塞で本土決戦の陣地であることを知りました。次に、日露戦争時、ロシア艦隊を撃破した旗艦三笠を見学しました。当時日本海軍は、二日間の戦いでロシア艦隊を壊滅させる成果を挙げた訳ですが、その旗艦がこんな小さな船であったのに、驚きを覚えたのでした。昨年からはまったゴルフ

ときがわ

宮崎得一(高5)

恒例の総会後の講演会、今年は地元元鳩山町出身の弁士



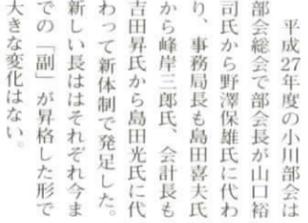
嵐山滑川

宮島 浄(高8)

部会活動を報告します。一、事業関係「新春バリアフリーコンサート」主催部会、後援嵐山町・滑川町教育委員会、社会福祉協議会、松高同窓会本部(一部既報)27年1月18日滑川町コミュニティセンターにて開催。観客総計約200名参加。「新春特別講演会」27年2月7日嵐山町ふれあい交流センターにて開催。

小川

野澤保雄(高6)

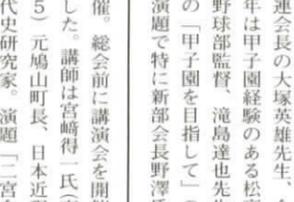


の野球への情熱が反映された講演会となった。昨年小川町・東秩父村で渡されている「細川紙」がユネスコ無形文化遺産に登録され、小川町と東秩父村の絆がより深まった感がある。又、これを機に松高同窓会本部の「史跡めぐりと見学会」の面々の来訪もあり当部会でも全面的に協力し、同窓生としての親睦を図った。この会で小川

ときがわ

宮崎得一(高5)

行事も総会と講演会で親睦事業は年二回の親睦ゴルフが主だが、母校に対する帰属意識は強く、松高のクラブ活動、進捗情報は関心が高い。文武両道の母校の活躍に期待する仲間だ。講演事業は、今回は高野連会長の東大英雄先生、今年甲子園経験のある松高野球部監督、滝島達也先生の「甲子園を目指して」の演題で特に新部長野澤氏



嵐山滑川

宮島 浄(高8)

松高卒業生と元PTA役員を含め約60名参加。講師に日本薬科大学教養教育センター長、元松山高校、秩父高校校長野澤直美氏を迎え、演題「日本の教育を考へる」―未来の若者をどう育てるか―私の教育観―をスライドを交え講演をしていただき、生き方の姿勢や、家庭環境の重要性を学んだ。講演後、部会新年会を開催。野澤先生を囲み、新井会長道祖士副会長にも同席していただいた。二、総会(第五回)27年12月13日小川カントリーにて開催。5組20名参



加 宮島 浄(高8) 0493・62・3819

東秩父の新しい歴史の発見をした人もいたのではないかと推測する。小川部会も四百人以上いた会員も現在三百九十三人と四百人を割り、会員の減少に歯止めをかけるべく再募集を計画。多くの会員を以て松高の応援部隊としてこれからも奇与できたらと思っている。関根高義(高6) 0493・82・0127

鶴ヶ島

小林光清(高8)

3月28日北坂戸駅集合... 安行寒桜」に面する

・ウオーキング
・親睦ゴルフ
・松高祭見学(第2日目)



11月29日「おおよさ」で開催... 松高祭見学(第2日目)



さん(高4)がご都合により... 梅津 稔(高14)

入間

梅津 稔(高14)

5月 第6回定期総会... 親睦を深めた。

・松高祭見学(第2日目)



11月29日「おおよさ」で開催... 松高祭見学(第2日目)

熊谷

長谷川清司(高19)

1) 第6回総会... 熊谷駅まで新幹線

・松高祭見学(第2日目)



大里秩父部会も新規会員... 野口政巳(高12)

大里秩父

野口政巳(高12)

本年度総会において... 野口政巳(高12)

・松高祭見学(第2日目)



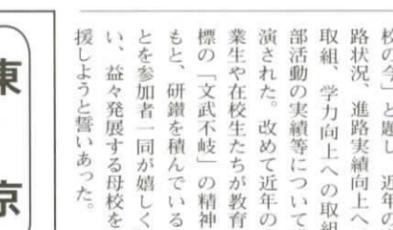
野口政巳(高12)の参加も期待しています

坂戸

関口守正(高9)

講演会並びに定期総会... 関口守正(高9)

・松高祭見学(第2日目)



講演会終了後、忘年会に... 中島毅夫(高24)

毛呂山 越生

村本 洋(高15)

総会前に部会報「越生川」第2号を92名の全会員に郵送しました。

・松高祭見学(第2日目)

総会後の講演会では、本会所属で埼玉県酒造組合事務局長をされていた岸和雄氏による「埼玉の地酒あ



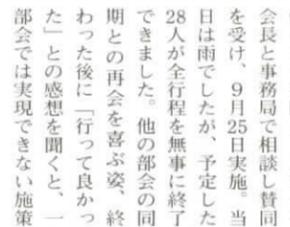
川越部会では、過去に、小規模実施の経験はありま

川越

細田照文(高11)

昨年、これからの同窓会には部会同士の連携の必要性を提起しましたが、早速に坂戸、鶴ヶ島、川越の三

・松高祭見学(第2日目)



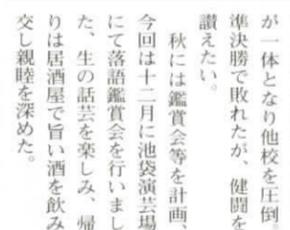
も、他部会と合同施策にすれば可能だということ

ふじみ野

松本昭樹(高12)

八回目の総会及び講演会には本部より新井会長、道祖土副会長の臨席戴き開催

・松高祭見学(第2日目)



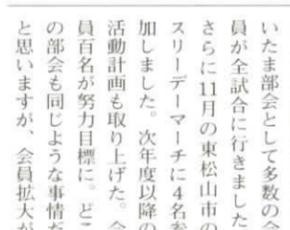
その他、ゴルフ、写真、エコ農園、木彫り等のサークル活動や、機関紙「空は晴れたら」は、年2回の発行

さいたま

関口盛夫(高11)

第2回さいたま部会総会ならびに懇親会を平成27年7月11日(土)に「さいたま市民会館うらわ」で開き

・松高祭見学(第2日目)



野原原雄(高14)の参加も期待しています

東京

宮崎昭夫(高7)

2月11日会員募集を兼ねて「せたがや梅まつり」に参加しました。

・松高祭見学(第2日目)



4月16日は東京散歩で高尾の森林科学園の校と武蔵野陵墓のツアー。



定期総会は関口会長が議長となり、平成27年度の議事が満場一致で可決承認された。

母校だより

「文武不岐」を実践する松高生。その活躍を紹介します。

野球部

○春季大会 県大会
1回戦
松山0-1聖望学園

○第97回全国高等学校野球選手権 埼玉大会
2回戦
松山6-3豊岡

3回戦
松山7-6立教新座

24年ぶりベスト4

全国高等学校野球選手権埼玉大会



4回、逆転して喜びを爆発させる松山ナイン 対聖望学園

柔道部

○春季県北大会
・団体戦 3位
・体別個人戦
66kg級 準優勝 小久保佑斗

○秋季大会 県大会
2回戦
松山5-1ふじみ野
3回戦
松山2-6上尾

*清水 凌 主将 北関東選抜に選出され、オーストラリア遠征に参加

3位	西藤功雄	73kg級	3位	大久保優太	81kg級	準優勝	小野朋生	90kg級	3位	金子颯太	100kg級	3位	橋本大河
3位	伊東優成	73kg級	3位	大久保優太	81kg級	準優勝	小野朋生	90kg級	3位	金子颯太	100kg級	3位	橋本大河

陸上競技部

伊東優成 全国高校総体ハンマー投 4位



全国高校総体ハンマー投決勝 59m99の自己新で4位に入賞した伊東選手

1位	伊東優成	ハンマー投	4位	伊東優成	ハンマー投	7位	今井優作	5000m	8位	野口英希	1500m	2位	野口英希
1位	伊東優成	ハンマー投	4位	伊東優成	ハンマー投	7位	今井優作	5000m	8位	野口英希	1500m	2位	野口英希

ソフトテニス部

○全国高校総体大会
・ハンマー投 1位 伊東優成
*以上インターハイ出場
宇田川・戸塚・多田
戸村・小林

○関東高校総体大会
・ハンマー投 4位 伊東優成
・ヤリ投 出場 齊藤 司
・県新人陸上競技大会
総合 6位
・800m 1位 三上椋平
・1500m 8位 野口英希

○関東大会県予選
・団体戦 優勝
・個人戦 優勝
人見・橋本ベア
ベスト4 高橋・伊東ベア

○関東大会(前橋市)
・団体戦 第3位
高橋・小林 人見・橋本
西條・伊東 中島・大政

○個人戦
ベスト4 人見・橋本ベア
高橋・伊東ベア
ベスト8 中島・大政ベア

○学校総合体育大会兼
インターハイ県予選
・団体戦 優勝
高橋・大政 人見・橋本
西條・伊東 千崎・寺下
個人戦

空手道部

○関東大会 県予選
個人戦 8位 川添聖太
個人戦 3位 瀧島優太

○関東大会(埼玉県)
・団体戦 優勝
・個人戦 優勝
高橋・伊東 千崎・寺下

剣道部

○関東大会県予選
・団体戦 ベスト32
・個人戦 ベスト16
・全国大会県予選
1回戦 西條・大政ベア
団体戦

○ハイスクール
ジャパンカップ(札幌)
・シングルス 優勝(2年連続) 高橋
・ダブルス 優勝 人見・橋本ベア
ベスト16 人見・橋本ベア

○関東大会(前橋市)
・団体戦 第3位
高橋・小林 人見・橋本
西條・伊東 中島・大政

サッカー部

○関東大会 県ベスト16
・インターハイ予選
県大会出場
選手権大会

○U-18トップ2リーグ
松山高校A
U-18北部支部1部リーグ

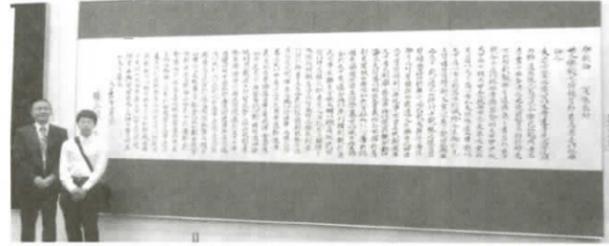
卓球部

○関東大会 県予選
・シングルス 優勝 田村 米山
・ダブルス 優勝 田村 米山
・個人戦 優勝 田村 米山
・団体戦 優勝 田村 米山

○関東大会(前橋市)
・団体戦 第3位
高橋・小林 人見・橋本
西條・伊東 中島・大政

書道部

全国高校生 大作書道展 文部科学大臣賞 受賞



全国高校生大作書道展文部科学大臣賞受賞作品と 荒井君(右)、松崎先生

○第9回全国高校生 大作書道展
文部科学大臣賞
荒井 仁

○第39回全国高等 学校総合文化祭
びわこ総文2015
参加
(滋賀県体育館)
荒井 仁

吹奏楽部

○定期演奏会
東松山市市民文化センター

○第56回埼玉県吹奏楽コンクール
Bの部 銅賞受賞

○第37回クリスマスコンサート
東松山市市民文化センター

○野球応援、学校、地域行事への参加

生物部

○第39回高校囲碁選手権 埼玉県大会
準優勝 山本唯期

○高校生バイオサミット 優秀賞
PCR-RELP 法による 日本産インゲン豆の鑑定
澄川智紀・伝田直晃

○埼玉県科学教育振興展覧会 中央展 優良賞
日本産インゲン豆の分子系統解析
佐久間幹大・鳥屋太志

○高校生科学技術チャレンジ 佳作
トランスポゾンTol12 (メダカ)・Tol12(金魚)

美術部

○東松山市第18回 「花とウオーキングのまち 平和賞」 絵画の部
最優秀賞 高橋建介

○東松山市第18回 「花とウオーキングのまち 平和賞」 絵画の部
最優秀賞 高橋建介

映像制作部

○第51回埼玉県 高校放送コンクール
制作テレビドラマ部門 優秀賞
「竹村くん」

・テレビドキュメント部門 「三つの「あ」」 優良賞

○第62回NHK杯 全国高校放送コンテスト出場
「竹村くん」「三つの「あ」」

○第39回全国高等学校総合文化祭滋賀大会出場
文化祭メッセイジ部門
・ビデオメッセイジ部門 「こだわりと絆」

○第35回高校放送コンクール(第32回埼玉県高等学校総合文化祭)
・ビデオメッセイジ部門 「職人の未来」 優良賞

第13回関東地区高校放送コンクール 出場決定

新聞部

○オレオピクチャー部門
「昔を今に」武州枯露柿復活へ」 入選

○第13回関東地区高校放送コンクール
・ビデオメッセイジ部門 「職人の未来」 最優秀賞

○文化祭びわこ総文出場
・第19回全国高校新聞 年間紙面審査 優良賞

○2016年全国高等学校総合文化祭びわこ総文 出場決定



全国的に評価の高い松高新聞

応援団部

○各大会での応援
・野球応援 県大会
春季大会 県大会
選手権 埼玉大会
秋季大会 県大会
ラグビー応援 県大会

・全国高等学校ラグビーフットボール大会県予選
・陸上競技応援
・全国高校駅伝 県予選会
・水泳応援
・全国高校総合体育大会 予選

○新入生歓迎挨拶指導
校歌・応援歌練習
・地域活動・演技披露
・東松山市「まちなか再生 応援団」
・比企地域B級グルメリフェスタ
・日本スリーデーマーチ

バスケットボール部

○関東大会 県予選会
・シングルス 出場 田村 米山
・ダブルス 優勝 田村 米山
・個人戦 優勝 田村 米山
・団体戦 優勝 田村 米山

○関東大会(前橋市)
・団体戦 第3位
高橋・小林 人見・橋本
西條・伊東 中島・大政



野球応援で盛り上がる「紫薫の集い」

松山・白岡奮闘

高校野球選手権埼玉大会は25日、2球場で準々決勝があった。松山がBシードの聖望学園に勝利し24年ぶり、白岡は埼玉栄との対戦を制して初の4強進出を決めた。Aシードの浦和学院は33年ぶりの強敵熊谷にコールド勝ち。シード校同士の対戦は花咲徳栄が西武文理を下した準決勝は25日、県営大宮で行われる。



第97回 全国高校野球選手権 埼玉大会
主催/朝日新聞社・読売新聞社



松山一聖望学園 四回表松山2死一、二塁、鈴木右の右打で二塁走者西山は、聖望学園・投手松本と交錯しながらも生還＝市営大宮

新聞で見る 松高とOBたち

この1年間、日刊紙に掲載された松山高校と同窓生に関連する記事。その中から主なものをみると――。

ソフトテニス

埼玉新聞 平成27年5月13日付

松山 2-0 本庄東	松山 2-0 武蔵越生	川越東 2-0 早大本庄	川口総合 2-1 熊谷
松山 2-0 大宮西	川越東 2-1 川口総合	松山 2-0 大宮西	川越東 2-1 川口総合
松山 2-1 川越東	川越東 2-1 川越東	川越東 2-1 川越東	川越東 2-1 川越東



男子団体 松山7年ぶり栄冠

ソフトテニス 男子団体

松山は7年ぶりに栄冠を手にした。ソフトテニス男子団体の決勝までが行われ、新人大会覇者の松山が7年ぶりに栄冠を手にした。

鍛えた足腰 窮地で本領

松山は冬場に鍛えた走りや、足腰の強さを発揮した。松山は冬場に鍛えた走りや、足腰の強さを発揮した。

第97回 全国高等学校 野球選手権 埼玉大会 松高ベスト4進出

朝日新聞 平成27年7月26日付

松高はベスト4に進出した。教員の人事異動も話題となった。

- 教諭・岡田恒夫(退職)
- 教諭・服部明正(退職)
- 教諭・伊山高橋(再任用)
- 教諭・松山高橋(再任用)
- 教諭・清水千津子(退職)
- 教諭・小室靖史(退職)
- 教諭・真下純一(狭山清核高校)
- 教諭・橋本直人(進修館高校)
- 教諭・坂本均(滑川総合高校)
- 教諭・谷野浩人(小川高校)
- 教諭・小直直由樹(吹上秋桜高校)
- 教諭・松本朗(総合教育センター)
- 教諭・鯉井智巳(県立学校人事課)

好機逃さず決勝打

松山打線は、聖望学園の主戦松本投手を攻めあぐねていた。変化球も直球も、甘い球は来ない。1点を追う松山は、この好機を逃さず、決勝打を放ち、敵失も呼び込み、一挙2点、これが決勝点となった。自分のミスを、

OBによる 在校生への講義 行われる

学校からの要請により家庭科「高齢者理解」という分野で、平成27年3月5日から1年生9クラスに対してOBが講義を行った。講義内容は講師の長い人生経験をもとに、生きがい、社会参加、健康問題等多岐にわたっている。授業後「先輩の話を聞いて学んだこと、自分の今後に生かしたいこと」という題で書かれた生徒の作文が講師に送られた。

バリアフリーコンサート

松高同窓会が主催

「新春バリアフリーコンサート」が18日、滑川町コミュニティセンターで行われた。



力強いパフォーマンス。同部会の宮澤部会長は「会の仲間内だけで活動するのではなく、今後は地元の人との交流を促していきたい」と話した。

松高を応援しよう！ 学校行事・運動応援に参加を

第51回比企一周駅伝



「比企一周駅伝」が平成27年11月26日(木)に行われた。出発の頃は雨も上がってきた。各中継点では担当部会の父母の皆さんが雨具着用でコースの安全確保に当たっていた。選手、選手係りの生徒と先生方がチームワークよく準備を進めていた。

第68回 体育祭



平成27年10月8日(木)に岩鼻運動公園で開催された。快晴のグラウンドでは陸上各種のクラス対抗の熱戦が繰り広げられ、総合優勝3年2組・準優勝2年4組・第3位3年1組に決定した。

第68回松高祭



第68回松高祭は平成27年9月5日(土)・6日(日)に開催された。今年のスローガン「松破」をモチーフとした松ぼっくりが来客を迎えた。体育館ではバレー、バスケットボールの招待試合、応援団の演技、吹奏楽、教室では各文化部の発表会で大いに盛り上がりがあった。

同窓会だより

第 100 回 ゴルフ 33 会 記念大会

大木茂實 (高 11)



軽井沢 72 ゴルフ場 西・ゴールドコース

伝統と光輝ある我等が母校が、近々に創立 100 周年の記念すべき節目を迎えることは、誠に嬉しい。

一方、我々 3 年 3 組 (恩師・本多好一氏) は、昭和 56 年から文武不岐の精神にのっとり、ゴルフ道に取り組み、3 年 3 組にちなみ 33 会と称し、3 月 3 日、6 月 6 日・9 月 9 日を目標に年 3 回開催され、過日日出度く第 100 回の記念コンペを行った。

平成 27 年 6 月 1 日、天下の軽井沢 72 ゴルフ場に参集した精鋭のプレーヤーは 11 名の面々。雄峰浅間山に向ってパッパナス爽快なプレー続出。終って宿泊パ

ティーは、日本の名湯草津温泉ホテル「アルペンローゼ」これは私が現職中に約 60 億円を投じて建設した。県の施設でヨーロッパリゾート流の、高級バイキングスタイルのホテル。夜の果てるまでカラオケプレーは続いた。

この会は、キビシク優勝者幹事に一任の会で、会計報告は 1 円のくも無く引き継がれ、その証拠資料は膨大にある。ひと組の仲間が中心で 30 数年の星霜を受け継がれ見事 100 回記念のすこい絆の会である。

メンバーの中には、遠く横浜・市川市などから参加の御仁も居る。「朋のあり

て遠方より来たり。また榮しからずや」だ。

＊エントリー者＊

池田敬吾・大木茂實・笠原敏捷・笠原茂平・梶島聖哉・木村房夫・菅間阿成・勝呂栄一・鈴木満雄・竹井輝彦・渡辺貞夫・以上の心酔の友

＊33 会の経緯＊

56 年 7 月発足コンペ (於川越カントリークラブ、バリエイター会場・上沼「武蔵」)

同級の山口敏夫君が衆議院議員で活躍中は、優勝カップ等の寄贈を受ける。

＊お返しに、彼の後援会事務所に出入りして、政治活動等の応援手伝いをする。

昭和 60 年松高体育館で挙行された、労働大臣就任新

年祝賀式には、我々のクラスのみ全員に案内があり勇んで参加した。続いて二次会を百穴の「松音屋」で彼を中心に車座で行い親しく飲み話した。

時には、恩師 酒井徹鈴木勲二両先生に案内をして、参加いただいた、懐かしい思い出もある・・・。

我々は、俗に言う後期高齢者、いや違う「高貴高麗者」になったが、あのドイツ生まれのアメリカ詩人のサム・エル・ウルマンの、「YOU TH」を胸に刻んで、希望/勇氣/友情を抱いてゴルフ道を歩む限り何歳であろうとも、俺達は「青春にして已む」!!!

趣味のコーナー

俳句

初日 水城 龍哉 (菅沼智之) (高 5)
 春ね巡り今日ありての初日かな
 年の戸を萬歳楽で押し開き
 旅人に椿火赤々と湯宿かな

星ひとつ 福島 以行 (以行) (高 6)
 一瞬の生命の縮図星ひとつ
 墨堤や祭りの果てたり願雲
 水勢の濁きよきこと爽造り

夏 神保 友雄 (友雄) (定 9)
 給油所と無人の駅と鮎解禁
 海開き終へ神官もひと泳ぎ
 花火待つこの退屈にしばらくは

短歌

失題三首 持田 太川 (行雄) (高 8)
 相好を崩し菩薩の顔になる
 婆さま話題係に移ると
 気付かずに進む病ひも在りぬべし
 騒ぎ過ぎよと妻よ責むるな
 玉子酒風邪の薬と飲み過ぎ
 甘露となれり酔い覚めの水

秩父路近詠 (2) 桑島 弘治 (弘治) (高 8)
 秩父路の山峡に湧き絶え間なき
 天然水を汲まんとして来ぬ

百歳の後には消えん式甲山
 石灰岩の山肌曝す
 落葉浮く山の出湯の露天風呂
 木洩れ陽縫いて鳴く鳥はなに

徳べば 小島 三舟 (信雄) (高 10)
 よくぞまあ長い人生楽しかり
 人間万事塞翁が馬
 戦国の女性輝くガラシャこそ
 花は花なれ人は人なれば
 冬枯れのさびしき庭にふと見れば
 春の匂いの福寿草咲く

札所代参 吉田 昇 (昇) (高 12)
 癌病むも秩父札所を詣てむと
 巡礼古道を杖にすがりて
 観音の御堂を遙か見上げつつ
 癌病む友はその場におろがむ
 結願の水滸寺の納経は
 君の遺影と我が一人

投稿

わが村「近代の三学者」考

かつて比企郡野木村から
 「明治・大正の漢詩人」嵩
 古香先生 (埼玉三学者の一
 人・春桂塾創設 昭和の書
 名な学者が知られている。

家松崎春川先生 (書道誌「管城」主宰・国宝「本願寺本三六人家集」複製等) と高

第 97 会高校野球の試合観戦記

小川輝夫 (高 14)

7 月 19 日 (日曜日) 3 回戦 第二試合が 11 時 30 分に上尾市民球場で本校と立教新座の対戦で本校が先行で開始された。当日は連休中日でもあり一塁側三塁側共に在校生、父兄および卒業生で満席であった。

初めに延長 10 回で勝利したことを選手諸兄におめでとうと言います。お疲れさまでしたと言いたい。

試合経過をみると本校は序盤の滑り出しがよく初めの三イニングで 3 点差と有利に試合が運ばれた。中盤で相手チームの投手が交代し打球が鈍くなったのか、それでも 1 点加点して 4 点差としさらに有利に展開した。相手チームの打撃も素晴らしく本校はよく守備ができた。そして終盤に入り本校の投手の疲労が中盤までの切れのよい打球が途絶えてリリーフの選手交代に



なりました。

打球の乱れもあり、また相手チームの打撃が鋭くなって 4 点を許してしまいました。延長戦となり延長戦になった。延長戦ではレフトに回っていた先発投手が戻り打撃も本校の勢いが復活し 1 点を取り後攻の打撃を封じ最後の最後で勝利をつかんだ。

一連を通じて感じたことは、中盤の打撃が低調になり、ねばりがなくなること。守備に関してはピカイチではないかと思う、2 塁ライナーをジャンプしてキヤッチ、歴史に残る素晴らしい守備。他にも外野の選手が、外野オーバーサイズが多い素早い守りが見られた。投手に左右されることが多い野球、今後の課題に投手の強化が必要である。

声をからし応援に没頭した。

4 回戦も 3 回戦の序盤のように元気よく戦ってほしい。



寄贈図書

〇八十路旅 西村親一 (高 3)
 〇奥武蔵・秩父峠歩きガイド 大久根 茂 (高 23)



寄贈作品

〇書 揮毫・松崎春川 島田幸一 (旧 22)
 〇ゴルフ 33 会第一〇〇回記念優勝杯 大木茂實 (高 11)



第 71 ~ 100 回の優勝者の芳名を刻んだプレート付

寄附金

◇ 135,208 円 | 埼玉県松高会 | 「創立百周年記念事業」に向けての寄附

※ご協力、誠にありがとうございます。

お知らせ

記念館の開館は原則として左記の通りです。

毎週月・火・木・金曜日 時間 9 時 ~ 13 時

見学希望の方は事前に同窓会事務局 (松浦) まで、お問い合わせ下さい。

TEL 0493-24-2634



会報の発送について

また、郵便物は、会費複数年払と毎年払の用紙の 2 種類があります。同封する内容が異なるため、間違いが生じないように、どちらかを終えてから次に移るようになっています。

以上のような理由で、同じ学年または同じ地域に居住であっても、会報の届く日に差が生じることがあります。

編集後記

会報も今号で 33 号となる。諸先輩から引き継ぎを繰り返しながら、ここまで発行することが出来た。母校の活躍、動静を届けるべく同窓諸氏の温かい応援を頂き、頑張ります。(小澤記)

◇編集委員の氏名◇

- 江野 邦夫 (高 8 回)
- 桑島 弘治 (高 8 回)
- 長谷部守水 (高 8 回)
- 大木 茂實 (高 11 回)
- 鯨井 浩久 (高 11 回)
- 萩野 紘 (高 14 回)
- 小澤 義信 (高 14 回)
- 古山 祥道 (高 14 回)
- 亀井 幸一 (高 19 回)
- 島本 真栄 (高 19 回)
- 高木 静夫 (高 19 回)
- 江野 幸一 (高 21 回)
- 大久保一男 (定 8 回)